



勝手にサブスク契約になっていた!?

サブスクリプション(以下サブスク)の相談が増えています。

問合 消費生活センター(ステーションNビル3階) ☎753・5555

相談

クレジットカード(以下「カード」)の利用明細を確認すると、数カ月にわたり、海外の事業者から身に覚えのない料金が引き落とされていることが分かった。契約した覚えがなく、何のサイトかも分からない。返金してほしいが、連絡先が分からない。

毎月定額料金が引き落とされていることから、サブスクの契約になっていると思われました。サブスクとは、定額料金を支払うことで、一定期間、商品やサービスを継続して利用できる仕組みです。請求元を調べると、紛失したスマホを探してくれる海外サイトでした。相談者はスマホを紛失したことはなく、絶対に申し込んでいないと話していました。当該サイトを検索しても、すぐには見つからず、ようやく見つけたサイトは、英語で表記されていました。翻訳して確認すると、7日間の無料トライアル期間があり、解約しないと自動的にサブスクに移行すると記載されていました。問い合わせフォームから「契約していないので払ったお金を返してほしい」と申し出ることと、カードの利用を停止するよう助言しました。その後、サイトから返信がなかったため、カード会社に相談したところ、調査の結果、返金されることになりました。

このほか、「1回限りだと思ったらサブスクだった」「サブスクを解約できない」などの相談も寄せられています。数日間のトライアル期間終了後、サブスクに移行するケースが少なくありません。契約する前に利用規約を確認しましょう。また、日頃からカードの請求明細をこまめにチェックしましょう。



健康相談



「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」について教えてください。



「人生会議(ACP)」とは、将来の医療やケアについて、元気なうちから自分の希望を考え、家族や医療従事者と話し合っておく取り組みです。

命の危険が迫った状態になると、約70%の人が医療やケアについて自分で決めたり望みを人に伝えたりすることができなくなるといわれています。病気や高齢により、自分の意思を伝えられなくなることは誰にでも起こり得ます。そのとき、事前に話し合いをしていれば、本人の望みに沿った医療やケアを受けやすくなります。内容は難し

いものではありません。「どこで過ごしたいか」「どこまでの治療を望むか」「誰に判断を託したいか」など、日常の延長として考えることが大切です。一度決めた内容も、気持ちや状況の変化に応じて見直して構いません。

政府は、ACPの愛称を「人生会議」に決定するとともに、毎年11月30日(いい看取り・看取られ)を「人生会議の日」とし、人生の最終段階における医療やケアについて考える日としました。「人生会議」は特別な人のためのものではなく、全ての方に関わる大切な準備です。この機会に、家族や身近な方とゆっくり話し合ってみてはいかがでしょうか。

池田市医師会

検索